

在ペナン総領事・町田です。皆様、明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

新年のご挨拶は別途ＨＰにアップさせていただいておりますところ、こちらでは昨年１２月の総領事（館）活動報告をさせていただきたいと存じます。なお、これら活動については別途総領事Ｘでも紹介しておりますので、併せ御笑覧ください。

ペナン外への出張等については、

１２月１１日、日帰りですが、ペルリス州カンガーに出張し、同州で操業する手袋製造の「Shorubber」社の謝恩会に出席しました（詳細後述）。この他、当館各担当官も、必要な用務出張を行なっております。

政治・行政・経済面では、

１２月９日、AMDAマレーシア支部のＢ・アンソニー医師、「Rose Charities Malaysia」のダトスリ・ローレンス・チアさんのご訪問を頂きました。AMDAは日本発祥の医療NGOであり、その海外活動には定評があります。アンソニーさんは、私が経験したネパール大地震にも出動していたということで正に奇遇でした。また、ダトスリ・チアは（ご自身も矍鑠としたご老人ですが）、高齢者の福祉事業に長年関与されており、今後、高齢者の集まりにおける日本料理・日本文化の紹介にご関心があるということなので、何からのコラボができそうです。



同日、当地私立病院「Bagan Specialist Center」を訪問しました。これは、同病院関係者が「P MED」（当地医療観光振興団体）の一員として当館を訪問されたことのフォローアップでした。同病院では、東京医科歯科大学卒・日本医師免許取得・英国専門医師取得の内科専門医のヤップ先生と懇談し、病院経営層の方々と意見交換し、各科を見学しました。一定の数の専門医を有する病院であり、今後関係を構築していくことは有益だ



と思いました。なお、この病院は、ホンダの販売代理店をマレーシアで築いたことで有名なロー・ブン・シュー氏の財団が地域貢献活動として開設したものです。ひょんなところに日本との縁を発見です。

11日、ペルリス州カンガーに出張し、同州で操業する手袋製造会社「Shorubber」社の謝恩会に出席しました。この会合は、数年に一回、現地政府関係者に感謝の意を表するものであり、ペルリス州皇太子ご夫妻も出席をされていました。「Shorubber」社は長くペルリス州経済に貢献した企業であり、このような取り組みも通じて同州で円滑な操業を続けることができればいいと考えております。ペルリス州皇太子は大変ささくなお人柄でこの会合の後にサイクリングに誘われたのですが、先約があって残念ながら一緒できませんでした。和太鼓も入り、招客も「Shorubber」社関係者も歌い踊る和気藹々とした会合でした。



16日、マレーシア（KL及びペナン）調査のために当地に出張された東京都中小企業振興公社のお二方と当地日本企業の代表の皆様と夕食を共にして意見交換・情報交換をいたしました。事務所訪問や紙での調査では分からないニュアンスや情報が得られたのであれば大変幸いです。

17日、高野所長を始めとする自治体国際化協会（Jークレア）シンガポール事務所の皆様が来訪されました。当方から、日本・マレーシア北部間の姉妹都市関係や総領事館の活動等をご説明し、また、今後の連携関係について意見交換しました。現在、ペナン州においては、州と連邦の権限関係の改革についての議論が進んでおり、関連して日本の地方自治制度が参考になる可能性もあり得ると思います。



今後とも、当地行政機関等との関係を深め、また、様々な人や組織を繋げることによって、当地の日本人・日本企業の皆様の活動へのヒントが得られればと思っています

す。

日本人社会との関係では、

12月23日、ペナン日本人会の定例理事会にオブザーバーとして出席しました（警備担当官も安全部会担当理事として出席）。理事会では、通常の議題に加え、日本人会の魅力向上等について活発に意見交換がなされました。当方からは、安全情報について共有すると共に、12月及び今後の総領事館活動のうち、ペナン等の日本企業の皆さんに関係ある行事について紹介しました。また、日本人会（日本人コミュニティ）への支援のため、総領事館の有している各種アセットを活用していただきたい等述べました。

領事事務を始めとした日本人社会へのサービスは総領事館業務の「一丁目一番地」です。当地日本人コミュニティの皆様には、警備担当官から安全講習を随時実施しています。今後とも、皆様への治安情報の積極的な提供に努めていきたいと存じます。

文化交流・報道・学術交流関係では、

12月1日（月）、愛知県立時習館高校の皆さんが総領事館に来訪されました。毎年実施されている当地のジッシン高校との交流のためのペナン訪問です。当方からは、マレーシア北部6州の状況、日本と北部6州との関係等について説明し、また、当地安全情報について情報提供しました。質疑応答では鋭い質問もありました。長く続くこの交流行事が今後も続き、大きな実を結ぶことを期待しております。



2日、豊橋技術科学大学（TUT）（信州大学：SU）のリム・パン・ボイ教授及びTUT／SUペナン拠点の皆様の訪問を受けました。今後のTUT等の当地活動についてのご説明です。特に、TUTがペルリス・マレーシア大学（UNiMAP）との間で新たな学生交流事業を立ち上げたことが印象的でした。また、2月のTUTインターン事業について当方も協力することを約しました。交流には組織と個人の力が重要です。リム先生のような「small dynamo」を今後も見つけていきたいと思ひます。



3日及び16日、TUT及びJAGAM北部支部の皆さんと打ち合わせをしました。TUT及びJAGAMとは、大学交流のみならず、豊橋市交流事業でも連携しました。交流事業の今後について建設的な打ち合わせができました。



同日、TUTリム教授及びUSM（サイバー・セキュリティ・センター）、デジタル・ペナン、ペナン・グリーン・カウンスル及び「Study Penang」関係者と夕食を交えて意見交換を行ないました。ペナンの発展や日本・ペナン関係の振興について前向きな考えを持っている人たちの化学反応を試みることができるのは誠に幸いです。



6日、ペナン・ヒルを訪問しました。「ペナン・ヒル・コーポレーション（PHC）」GMのダト・チョック・レイ・レンさんやボランティアの皆様、「The Habitat」関係者から懇切な説明をいただき、大変有意義なものになりました。本来であれば、ペナンで勤務開始直後に訪問すべきだったと思いますが、1年経っての訪問によって、ペナン・ヒルの重要性がよりよく理解できました。





同日、「Penang Harmony Corporation」主催の州政府によるクリスマス祝賀行事（於：セント・ジョージ教会）に出席しました。ペナンを含むマレーシアには、宗教的・文化的多様性があり、お互いの宗教への寛容性があります。今回の行事はその寛容性を明確に示したものだと思います。

10日、東京都福祉協議会の皆様が来訪されました。これは、毎年2月に実施される青年交流事業に向けての打ち合わせです。必ずしも財政的に容易ではない中、東京都の高校3年生を長年に渡ってペナンに派遣し、ボランティア活動を経験してもらうという意義ある活動です。2月に総領事館で報告会を開催していただくということになっており、その際に成長振りを拝見することが楽しみです。



19日、マレーシア科学大学（USM）における静岡大学とUSM言語学部のMOA調印式に出席しました。日本とマレーシア（ペナン）との間の新たな協力枠組みの設立に祝意を表します。今後、言語学部との協力を皮切りに、両大学間の広範な関係構築がなされれば幸いです。その後、日詰学長、粟井副学長、佐藤副学長が当館にお越しになり、当方から総領事館活動やペナン等の情勢をご説明すると共に、日本・マレーシア（ペナン）の学術交流の可能性等について意見交換いたしました。



総領事館としては今後とも、日本文化紹介及び日本・マレーシア交流促進のために心を尽くす所存です。今後とも、マレーシアで日本を盛り上げていきましょう！

新年も、日本とマレーシア（北部6州）との間をより良く繋ぐことによって、日本人の皆様が安心・安全に、誇りを持って、意義深い生活・活動をされるよう、微力ながらも全力を尽くす所存です。今後とも、ご指導・ご鞭撻をお願いいたします。

※以上の見解は、私個人のものです。